

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公開番号】特開2014-181317(P2014-181317A)

【公開日】平成26年9月29日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-58039(P2013-58039)

【国際特許分類】

C 0 8 F 10/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 10/06

C 0 8 K 3/00

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 21/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月31日 (2015.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記 (I) ~ (I I I) のプロピレン系重合体成分を含み ((I) ~ (I I I) の合計量を 1 0 0 重量部とする。) 、かつ、下記 (i) 、 (i i) の要件を満たすプロピレン系重合体。

(I) ゲルパーミエーションクロマトグラフィー (G P C) により測定した分子量分布曲線において、全量に対して分子量 1 0 0 万以上のプロピレン系重合体成分の含有量が 1 0 ~ 3 0 重量部

(I I) ゲルパーミエーションクロマトグラフィー (G P C) により測定した分子量分布曲線において、全量に対して平均分子量 1 万以下のプロピレン系重合体成分の含有量が 1 0 ~ 2 0 重量部

(I I I) ゲルパーミエーションクロマトグラフィー (G P C) により測定した分子量分布曲線において、全量に対して平均分子量 1 万より大きく 1 0 0 万より小さいプロピレン系重合体成分の含有量が 5 0 ~ 8 0 重量部

(i) A S T M D 1 2 3 8 E に準拠し、 2 3 0 、 2 . 1 6 k g 荷重で測定したメルトフローレート (M F R) が、 0 . 5 ~ 6 g / 1 0 分、

(i i) アイソタクティックペンダット分率 (m m m m) が 9 5 % 以上

【請求項 2】

相対的に高分子量のプロピレン系重合体成分 (H) を製造する工程と相対的に低分子量のプロピレン系重合体成分 (L) を製造する工程を含む、二つ以上の連続した工程を有し、高分子量のプロピレン系重合体成分 (H) が下記要件 (i i i) 、 (i v) を満たす、請求項 1 に記載のプロピレン系重合体の製造方法。

(i i i) プロピレン系重合体全量における高分子量のプロピレン系重合体成分 (H) の含有量が 1 0 ~ 4 0 重量 %

(i v) 1 3 5 テトラリン中で測定される極限粘度 [] が 7 ~ 1 0 d l / g

【請求項 3】

請求項 1 に記載のプロピレン系重合体 1 ~ 3 0 重量部と、プロピレン系樹脂被改質材料 1 0 0 重量部とを含むプロピレン系樹脂組成物。

【請求項 4】

前記 プロピレン系樹脂被改質材料 が、プロピレン系ブロック共重合体 (B - b) 4 0 ~ 9 9 重量部、フィラー (C) 1 ~ 4 0 重量部、および、エラストマー (D) 0 ~ 3 5 重量部 (ただし、(B - b)、(C)、および (D) の合計は 1 0 0 重量部である。) である請求項 3 に記載のプロピレン系樹脂組成物。